

## 高規格救急自動車が寄贈されました



後方車両が今回寄贈された高規格救急自動車

3月27日、消防本部において高規格救急自動車の受納式が行われました。

一般社団法人 日本自動車工業会が、社会貢献事業の一環として全国の消防本部に寄贈しているもの。

受納式では、一般社団法人 日本自動車工業会の矢野理事・事務局長から濱田市長へ目録を、レプリカキーを八幡消防長へ授与しました。

濱田市長が「ご寄贈いただいた高規格救急車、安全・安心なまちづくりに活用いたします」と謝意を述べた後、矢野理事・事務局長に感謝状を贈りました。

## いつまでもお元気で！ 100歳 慶祝訪問

### 湯浅ハマエさん満百歳を祝う

湯浅ハマエさんが4月1日、満百歳の誕生日を迎えられ、濱田市長らが湯浅さんの入所されている施設を訪問し、祝い状や記念品を贈りました。

湯浅さんは大正8年生まれで、22歳に結婚された後、建設会社や小松島市の給食センターで勤務され、定年までご家族の生活を支えられてきたそうです。現在は、他の入所者とおしゃべりをするのが大好きで、施設のイベントにも積極的に参加しています。

この日、多くの施設の職員や入所者、ご家族に祝福された湯浅さんは「ありがとうございます。これからもよろしくお願いします」とお礼の言葉を述べられていました。

## 誘致企業 (株)うるるBPO オープニングセレモニー開かれる

小松島市が誘致した企業である株式会社うるる BPO 徳島センターのオープニングセレモニーが3月30日、開催されました。

セレモニーに来賓として出席した濱田小松島市長、後藤田徳島県副知事のセンター開設に伴う歓迎の挨拶ののち、テープカットを執り行いました。同社初となる地方への事業所開設を祝い、本社より多くの職員も出席。テープカット後、地元連の八千代連による歓迎阿波踊りで会場は大いに盛り上がりました。



開所を記念して行われたテープカットではさみを入れる同社桶山社長と来賓ら

### 小松島市の木質素材応援コーナー

## ホづかいコラム



### ホづかいの肝は「カスケード利用」

木は、木材としてだけでなく紙やボード、燃料など様々な形で利用されます。丸太から角材に製材する際に発生する端材はチップにして紙やボードの原料に、また加工の際に発生するおが屑も燃料にするなど、木材副産物の利活用が進んでいます。

このように加工過程において発生した副産物を次の加工過程の原料として利用し、さらに次の段階でも利用するというように多段階に利用することを「カスケード利用」と言います。小松島市は丸太から製材、合板、ボード、燃料へとカスケード利用できるモデル的な木材加工企業が集積している地域なのです。